

縁をつなぎ、安心をとどけるお寺

清元院だより

第11号

令和元年10月26・27日。54年ぶりに清元院で、正式に住職につき大和尚となる晋山結制の諸法要が華やかに厳かに営まれました。和尚様方・お檀家・稚児の家族・行列見物の方々：あわせて約250名の皆様が足を運んでくださいました。本当にありがとうございました。

この日、生涯に一度だけ、住職が本尊前の須弥壇に登ることが許されます。そこから見えた景色は：本堂で温かく見守ってくださる参列の皆さま、重機を使わず手仕事で穴を掘り大勢で立ててくださった山門前の角塔婆、皆さまの浄財で整えられた参道、この日を彩るため育ててくださった門前のコスモス畑。どれも皆さんの気持ちがかたちになって表れたものばかりでした。その景色を目の当たりにして、支えられてこの場に立っている、皆さまと結んだ縁を大切にしていって生きていく：そのことを深く心に刻んだ晋山結制でありました。「縁をつなぎ 安心をとどけるお寺」を目指して皆さまと共に日々精進して参ります。

● 晋山結制フォトギャラリー

● 声

● 和尚さん 教えて！

● 大切にしたい言葉

■ 報告 ■ お知らせ ■ 行事予定

■ 令和2年 年回表

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴2562年 令和元年12月27日

須弥壇（本尊様の前の段）に登り、お檀家の皆様の安寧を願う言葉を述べる住職。《晋山結制法要のひとコマ》

晋山結制フォトギャラリー

十月二十六日(土)



晋山式



静岡県可睡斎 佐瀬道淳老師

首座入寺式



先代七回忌法要



配役本則行茶



土地堂念誦法要



稚児行列



先代7回忌法要導師 退休寺さま



稚児行列



長位 仁位



首座法戦式



晋山開堂



御詠歌奉詠



副会長謝辞



檀信徒総回向



護持会長祝辞



十月二十七日(日)

声

【坐禅会〓11月17日午前6時〓】
2カ月ぶりの坐禅へ。

まだ暗い中、車を走らせ、
少し寒くなった朝のピンと張った空気。
体を調え、心を調え、丁寧に自分と向き合
う時間。

だんだん明るくなっていくのを感じながら
坐禅終わりの合図。

特に、生まれ変わっているわけでもなく、
浄化されているわけでもないけど、贅沢な
有り難い時間。

そしてあったかい朝食。

日常から離れた、凛とした空気感、どんな
自分も受け入れながら、お寺を後にする。
よし、明日からも頑張ろう。

〓11月17日
参禅者〓



お っ 【和尚さん 教えて！】 よくある質問にお答えします…

Q1：仏壇に2つの家の先祖をお祀りしてはいけないと聞きました・・・

A：大丈夫です。仏壇は先祖の供養をする場であるとともに、お釈迦さまの教えに手を合わせ自分の生
き方を確認する場所です。家が違って、宗派が違って同じ仏教です。

仏さまはそんなことで怒ったりされませんから。これからはそのような事情のご家庭が増えることで
しょう。みなさんの不安を取り除き、安心を届けるのが仏教です。どうぞ一緒にお祀りして安心して
ご供養してあげてください。

Q2：お布施はいくら包んだらよいのですか？

A：各施主家の事情に合わせて、自分の気持ちで精一杯もった額をお包みください。

お布施は料金ではなく、自分の心を形を変えて包むのもです。お寺によってはお布施の目安が示して
ある場合もありますが、事情によってはその通りでなくてもよいのです。一番大切なのは、供養する
こと。十分なお布施が包めないなら拝まない・・・そんなお坊さんはいないはずですから！

令和2年カレンダー

〓大切にしたい言葉〓

一年ぶりに配布させていただく版画カ
レンダー。私のこころに響いたいくつか
を紹介します。

◇3月

「与えてもへらぬ親切。のこる徳。」

◇4月

「生命は一つしかない。それを使うのは
自分。」

◇7月

「求めない。すると楽だよ。」

◇11月

「一番こわいのは『慣れ』である。」

◇12月

「自らを灯明とせよ。法を灯明とせよ。」

※進むべき道は自分の中にある。進むべき道
はお釈迦さまの教えの中にある。

【お釈迦さまの言葉】





かわいらしいお顔で微笑みかけてくださるお地藏様です。倉吉市「八幡窯」の小原雅人先生を講師に、20名の参加で「第3回 お地藏さま作り教室」を開催しました。白やピンク色の可愛いお地藏様が出来上がりました。作る人それぞれの思いを込めたステキな作品ばかりです。作品は12月21日から百花堂での個展に展示されました。

大好評につき 第4回を令和2年3月28日(土) 午後1時半より開催することになりました。定員は先着20名となります。

9/28 お地藏様づくり教室を開催しました

今年の月明かり茶会には約20名がおいでになり、ハスの葉茶、抹茶、中国茶と、月と庭を楽しんで頂きました。その他に、住職の月にまつわる法話、朗読ボランティア「しおさい」による朗読劇、山川の高力弘さんの竹灯籠など月と共にお寺の夜を満喫していただきました。



9/13 中秋の名月「月明り茶会」に120名!

法事、お葬式のあとのお膳の会場をお寺でもお受けします。書院全面を机・イスにしたことに伴い希望される方が増えてきたためです。施主様が手配された仕出し屋さんが配膳、片付けは施主家で、飲み物は各自の手配でお願いしています。畳・部屋の維持管理費として一万円をお願いしています。ご希望の方は遠慮なくご相談ください。

「お寺でお膳」
できます。

桜の花が咲く頃、3月29日(日)午後1時半からハスの蓮根を植え替えます。全部で40鉢ですので、住職一人では大変です。そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒にハスを植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には蓮をおすそ分け致します。みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか!



「はすとも」大募集

4月までの行事予定

◇1月1〜3日 三朝祈願
◇3月14日 大般若法要 (落語会)

◇3月17日 彼岸の入り
◇3月20日 先祖供養

◇3月22日 永代供養墓見学会 (午後2時)

◇3月28日 お地藏作り教室 (午後1時半)

◇3月29日 蓮の植え替え (午後1時半)

◇4月12日 花まつり (午前10時)

お知らせ

◇写経写仏の会

・第1日曜 午後3時

◇坐禅会

・第3日曜 午前6時

◇お寺ヨガ

・第4水曜 午後7時30分

平成三十一年 年回表

一周忌 平成三十一(令和元)年

三回忌 平成三十年

七回忌 平成二十六年

十三回忌 平成二十年

十七回忌 平成十六年

二十五回忌 平成八年

三十三回忌 昭和六十三年

五十回忌 昭和四十六年



清元院

住職 井上 英之

〒 689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57
Tel 0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768
メール inotera1@mx1.tcbnet.ne.jp facebook :井上英之 清元院